

令和3年4月15日

印南町立中学校
適正規模検討委員会委員長 様

印南町教育委員会
教育長 平尾 潔司

印南町立中学校適正規模に係る委員会における審議について（諮問）

下記の事項について貴委員会の意見を求めます。

記

1 審議事項

「印南町立中学校適正規模について」

～未来ある子供たちのよりよい教育環境、学習環境の在り方について～

2 理由

全国的に少子高齢化が進行する中で、当印南町においても同様の課題があり児童・生徒数は減少しています。

このような状況のなか、町長より「学校の適正規模について」検討するように指示を受け、印南町教育委員会において、「子ども達にとってよりよい適正規模とは」という視点で検討を行って参りました。印南町教育委員会として一定の考えをまとめ、町長に「印南町立中学校の適正規模に関する印南町教育委員会の考え」として以下の内容で報告を致しました。

【印南町教育委員会の考え】

児童生徒数の推移、現状の課題、アンケート結果等を参考に、教育委員会で検討を行ってきました。「こども園が1園となったのだから、小学校、中学校とも統合しては」という意見や「中学校2校案にしては」という意見等、貴重な意見を述べてくれました。それらの多くの意見を踏まえた上で、印南町教育委員会において「適正規模について」慎重に審議してきました。

「ふるさとが人を育み、人がふるさとを創る。」「ときめく子どもたちの未来のために」という町づくりの視点や「どのような子どもを育てたいのか」という人づくりの視点にたって議論を行ってきました。小学校の低学年は、「きめ細かく丁寧に、児童の発達段階を踏まえた教育を。」中学校は、「将来を見据え、切磋琢磨をし、生徒の自律と自立を育む。自主性、主体性を育てる教育を行っていくことが大切である。」ということ

で基本的な考えは全員が一致した。

結果、教育委員会として、小学校は「地域コミュニティの果たす役割が大きい。当分の間、現状を維持する。」中学校は、「校舎の津波浸水、土砂災害地域を解消し、2学級編成ができるように、町内4中学校を1校に統合することが望ましい。」という考えに至りました。

統合のコンセプトは、「一人一人を大切に。いなみから国際化へ ～学校・地域の活気と ICT、英語教育の充実による人材の育成～」とします。

コンセプトを達成するために、現状施設では、教室等不足するとともに、ICT、英語教育の推進等、教育環境の充実のため、新設をして頂きたい。

なお、配慮を要する事項として

- (1) 学級規模が大きくなることから基礎学力の定着のために、指導者は、生徒一人一人の生活や学力の見とりを行い、指導方法の工夫、改善を図るため、一人一人に寄り添った指導や個別的な指導を組織的に行うこと。
- (2) 不登校、いじめのサインを見逃さず、組織的に対応する体制を確立すること。
- (3) 安全への配慮を要する生徒や、生活・学習を支援するために、町学習支援員の配置を願いたい。
- (4) 特別支援教育のニーズが高まっている中で、自立と自律を育むため、個別の指導計画を作成し、一人一人に配慮した教育を進めること。
- (5) 現在まで大切にしてきた地域との結びつきや連携した活動を絶やさずに、「地域とともにある学校」づくりを進めること。

「子どもたちにとって、よりよい教育環境、学習環境とは」という視点で町民、保護者、町議会議員等の皆様方に、適正規模に関する議論を始めていく資料として提起させて頂きたいと考えます。

「未来に生きる印南町の子どもたちのために、すばらしい教育環境で心身ともに豊かに成長できるように切に願っています。以上教育委員会としての考えを町長に申し上げます。」として令和2年9月2日に町長に報告しました。

その後、地域住民、保護者の皆さま方にできる限り多くのご意見を伺うために、10回の説明会を行ってきましたが、ここに、印南町立中学校の適正規模に関する印南町教育委員会の考え、説明会での意見・質問、教職員のアンケート結果等を資料として提示させていただきます。

その上で、「印南町立中学校適正規模について」～未来ある子供たちのよりよい教育環境、学習環境の在り方について～ 諮問いたします。

ご審議の上、ご報告（答申）のほどお願いします。